産業廃棄物処理計画書

2023年4月28日

福山市長様

提出者

住所 広島県府中市元町77-1

氏名 株式会社北川鉄工所 代表取締役 北川祐治

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0847-45-4560

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき,産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので,提出します。

事業場の名称	株式会社 北川鉄工所 福山工場
事業場の所在地	広島県福山市駅家町法成寺1613-10
計画期間	2023年4月1日~2024年3月31日
当該事業場において現に行っ	っている事業に関する事項 別紙 1, 2のとおり
①事業の種類	銑鉄鋳物製造業
②事 業 の 規 模	3,916百万円
③従 業 員 数	113名
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	鉱さい⇒セメント原料、再生利用、路盤材原料、埋立処分

産業廃棄物の処理に係る	5管理体制に関する事項	別紙1	, 2のとおり	
(管理体制図)				
産業廃棄物の排出の抑制	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	別紙 1	, 2のとおり	
	【前年度(2021年度)実統			
	産業廃棄物の種類	<u>鉱さい</u>		
	性 果 焼 果 物 切 椎 類	型 C V 、		
	排 出 量	1712	t	t
THUS.	(これまでに実施した取	組	ļ	
①現状		1111		
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	鉱さい		
	11. B	1010		
	排 出 量	1812	t	t
②計画	(今後実施する予定の取締	組)		
文光序変数の八四四ヶ間	- フ 東西	Dil ért a	0.00 1.4511	
産業廃棄物の分別に関す			、 2のとおり	
	(分別している産業廃棄物	物の性親及の分別に	- 関する取組/	
①現状	金さる	: : リサイクル、	五 生利田	
	<i>9</i> A C		1.1 77/1.4/14	
	(今後分別する予定の産業		分別に関する取組)	
्र इ.स.च्यां अस्ति स्टब्स्				
②計画	鉱さい	ヽ: リサイクル、再	手生利用	

勿の再生利用に関する事項	別紙1,2のとおり	
【前年度 (年度)実績】		
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	
(これまでに実施した取組)	<u>.</u>	
7 □ +# 1		
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の最	t	
勿の中間処理に関する事項	別紙1, 2のとおり	
【前年度(年度)実績】		
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
産業廃棄物の種類		
	t	
産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する		,
産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t t	
産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する		
産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		
産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		
産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		
	産業廃棄物の種類自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) 産業廃棄物の種類自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) (本産業廃棄物の種類自ら熱回収を行った産業廃棄物の量自ら神間処理により減量した産業廃棄物の量自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 別紙1,2のとおり 【前年度(年度)実績】 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量

自身	っ行う産業廃棄物の埋	里立処分又は海洋投入処分に	関する事項 別	紙1,2のとおり
		【前年度 (年度)実	績】	
		産業廃棄物の種類		
	O THAI	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	(これまでに実施した取組	.)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取組	.)	
産業	芝廃棄物の処理の委託	Eに関する事項 -	別紙1,2	2のとおり
産業	美廃棄物の処理の委託 	任に関する事項 【前年度(2022年度)実績		2のとおり
産業	美廃棄物の処理の委託 	T		2のとおり
産業	英廃棄物の処理の委託 	【前年度(2022年度)実績		2 のとおり
産美	英廃棄物の処理の委託 	【前年度(2022年度)実績 産業廃棄物の種類	別紙の通り	
産業	英廃棄物の処理の委託 	【前年度(2022年度)実績 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への	別紙の通り 1784 t	t
産第	英廃棄物の処理の委託 ①現状	【前年度(2022年度)実績 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への	別紙の通り 1784 t 200 t	t
産業		【前年度(2022年度)実績 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	別紙の通り 1784 t 200 t 1784 t	t t
産美		【前年度(2022年度)実績 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り 1784 t 200 t 1784 t t	t t
産第		【前年度(2022年度)実績産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り 1784 t 200 t 1784 t t	t t
産業		【前年度(2022年度)実績産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り 1784 t 200 t 1784 t t	t t
産第		【前年度(2022年度)実績産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り 1784 t 200 t 1784 t t	t t

(第5面)

	【目標】	別紙 1, 2	このとおり
	産業廃棄物の種類	鉱さい	
	全処理委託量	1884 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	198 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1884 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取	組)	
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績),建設業の場合における元請完成工事高
 - (前年度実績),医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書) 現状:前年度(2022年度)実績量 計画:今年度(2023年度)計画量

単位·トン/年

計画:今年度(2023年度					自門里										<u> </u>					
	排出抑制(自ら行 う 再 関する	事生利用に る事項	自ら行う中間処理に関する事項 自ら行う埋立処分等 に関する事項					等 処理委託に関する事項										
	排出 (前年度実		産業廃棄	利用を行う 棄物の量 績値の②+ ③)	自ら熱回 産業廃類 (前年度実	収を行う 関物の量 績値の⑤)	自ら中間が 減量するの の (前年度実	里	自ら埋立奴 洋投入処: 業廃棄 (前年度実	分を行う産 物の量 績値の③+	全処理	委託量 績値の⑩)	優良認定 へ 処理 (前年度実	の §託量	処理	業者への 委託量 経値の⑫)	処理	D 長託量	認定熱回 外の熱回 者への処 (前年度実	収を行う業 理委託量
産業廃棄物の種類	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥																				
廃油	4	4									4	4			4	4				
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	54	53									54	53	54	53	54	53				
紙くず																				
木くず	7	7									7	7			7	7				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず																				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	7	7									7	7			7	7				
鉱さい	1712	1813									1712	1813	146	145	1712	1813				
がれき類																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
合計	1784	1884	0	0	0	0	0	0	0	0	1784	1884	200	198	1784	1884	0	0	0	0

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	銑鉄鋳物製造業
②事業の規模	売上高 3,916百万円
③従業員数	113名
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	鉱さい⇒セメント原料、再生利用、路盤材原料

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項(管理体制図等,別紙を参照)

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

生未廃来物の折山の抑制に関する事項						
	(これまでに実施した取組)不良率の低減、原材料の配合の見直し					
①現状						
	(今後実施する予定の取組)不良率の更なる低減、原材料の最適な配合割合への取組み					
②計画						

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)鉱さい⇒ジェットパック車またはフレコン取りを行い、それぞれセメント原料、再生利用、路盤材原料へそれぞれ分別し処分業者に委託。また埋立処分する鉱さいについてはマザー工場の下川辺工場に移して埋立処分場に運んでいる
②計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)特に変更無し

5	自ら行う産業廃棄物	の再生利用に関する事項
		(これまでに実施した取組)
	①現状	
	少先 从	
		(今後実施する予定の取組)
	②計画	
6	白た行る産業成棄物	の中間処理に関する事項
O	日の打力性未廃来物	(これまでに実施した取組)
	①現状	
		(今後実施する予定の取組)
	②計画	
7	力と伝る玄奘成玄奘	ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ
7	日の117年未廃果物	の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 (これまでに実施した取組)
	①現状	
		(今後実施する予定の取組)
	②計画	
8	産業廃棄物の処理の	禾彰に関する東頂
0	生未用来初切处理(7)	安託に関する事項 (これまでに実施した取組) 埋立処分する鉱さいについて、製品として再利用できる業者を探し
		て取引を開始
	①現状	
		(今後実施する予定の取組)埋立処分する鉱さいについて、製品として再利用できる業者を探し
		て取引を開始
	②計画	
		,

ISO14001推進組織図

